

2015年12月1日

会社名 ミネベア株式会社

代表者名 代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久

(コード番号 6479 東証第1部)

問合せ先 IR 室長

志水 寛

(TEL 03-6758-6720)

「野村インベストメント・フォーラム 2015」での投資家説明資料について

当社は、明日12月2日、東京において野村証券様主催の「野村インベストメント・フォーラム 2015」に参加し、当社社長より経営戦略についてプレゼンテーションをする予定です。

明日使用する資料は、以下添付の通りです。この資料は、11月5日に開示した「2016年3月期第2四半期 決算説明会資料」の中の「経営方針と事業戦略」をもとにしていますが、そのうちP.1、P.3、P.4、P.7、P.13、P.14、P.15、P.18を一部修正し、P.12、P.19を新規追加しています。

また、新規開示事項として、次の点をご説明する予定です。

・11月のLEDバックライト事業売上高は、約240億円（10月は365億円）の見込みです。これは、スマホ市場におけるサプライチェーンの在庫を均一にするための調整によるものと理解しており、一時的にフル生産から一部生産調整へ移行していますが、現在のところ1月より再びフル生産に戻る予定です。従いまして、通期業績予想については現在変更の予定はありません。

以上

■投資関係お問い合わせ先	:	ミネベア株式会社 IR 室 TEL 03-6758-6720 FAX 03-6758-6710
■報道関係お問い合わせ先	:	ミネベア株式会社 広報室 TEL 03-6758-6703 FAX 03-6758-6718



Minebea
Passion to Exceed Precision

経営方針と事業戦略について

(野村インベストメント・フォーラム 2015)

2015年12月2日

ミネベア株式会社
代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久



業績の現状と当社株価について

現在の状況に対する当社の見解

将来の事業リスクに対する当社の見解

今期の見込み

将来への展開(新製品の説明)

業績の現状と当社株価について-1

売上高、営業利益は上半期としての過去最高を引き続き更新！

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比 伸び率	2016年3月期 上半期	
	上半期	上半期		7月修正予想	達成率
売上高	216,557	295,554	+36%	294,500	100%
営業利益	24,761	27,417	+11%	28,900	95%
経常利益	24,635	23,326	-5%	28,400	82%
純利益	17,817	17,758	0%	22,200	80%
一株当たり 純利益(円)	47.69	47.49	0%	59.37	80%

為替レート	15/3期上半期	16/3期上半期
US\$	102.53円	121.77円
ユーロ	139.10円	134.55円
タイバーツ	3.18円	3.59円
人民元	16.50円	19.52円

16/3期上半期 7月想定
119.49円
131.37円
3.63円
19.40円

業績の現状と当社株価について-2

— ミネベア
 — 日経225
 — TOPIX
 — TOPIX 電気機器
 — TOPIX 機械

2009年4月1日を基準日とした株価騰落率



(%) 2013年4月1日を基準日とした株価騰落率



(%) 2014年4月1日を基準日とした株価騰落率



(%) 2015年6月1日を基準日とした株価騰落率



1

足元の中国景気と自動車、スマホの状況

- 下半期は不透明さが全体的に増しているが、高級スマホ・高級自動車は来期、再来期とさらに伸びる見通し。
- **ミネベア製品は高級消費財とともに伸びる。**

2

LEDバックライトの競争関係は？

- シェアは高水準を維持。
- 10月から中華系高級Android機種の立ち上げ。
- スマホ以外の用途にも着実に供給を増やしている。

3

LEDバックライトはフル生産から一部生産調整へ移行するも、1月より再びフル生産へ

- スマホ市場でのサプライチェーン各社で在庫量および歩留まり等が異なり、現在は一時的に調整局面を迎えているが、1月よりフル生産に戻る予定。

1

来年のLEDバックライトはシェアが落ちる？

2

3年後は有機ELになるのではないか？

3

HDDの数量減によって利益は減少する？

4

**今期・来期・再来期の業績拡大のドライバーとなる
ベアリング・LEDバックライト以外のミネベア製品とは？**

1. 来年のLEDバックライトのシェア確保への努力

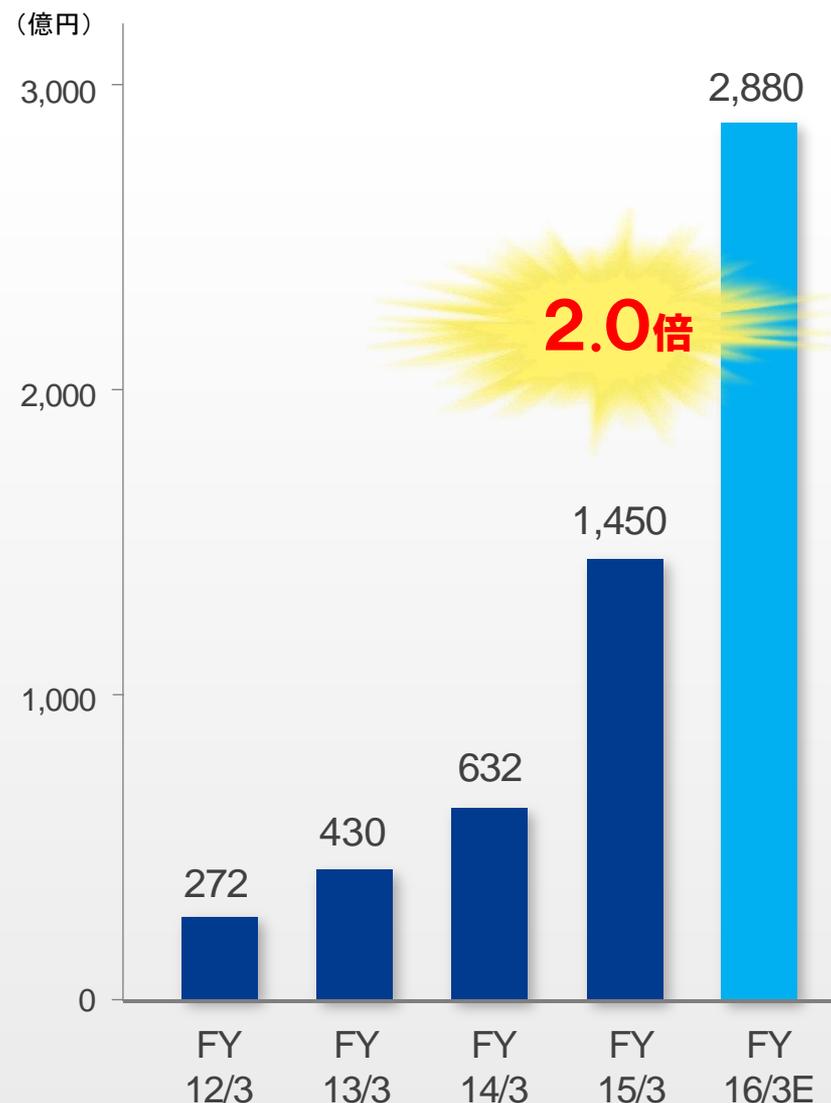
当社の供給力および
品質に自信

(来期も当社はプライマリー
ベンダーを狙う)

競争力強化で更にシェア拡大へ

- ・自動機導入やカンボジア生産拡大で人件費削減を行い、15/3期からの減価償却短期化(定率法)で17/3期以降の固定費削減を進め、製造コスト優位性を更に強化して収益拡大へ。
- ・車載向けは来年販売規模の拡大へ。
- ・高級スマホでの圧倒的高シェアを維持しつつ、高機能(薄型、省エネ)部品の中級スマホ採用を推進し、更なるシェア拡大へ。
- ・製造面での高難度化は今後も継続。

LEDバックライト事業売上高



2. 三年後には高級スマホの**全て**が有機ELには ならない見通し

中小型液晶は着実に成長

- ・スマートフォン、フィーチャーフォンを合わせた携帯電話用途が全体の85%以上(2014年実績)。
- ・今後もスマートフォン、車載ディスプレイを中心にプラス成長が続く見込み。

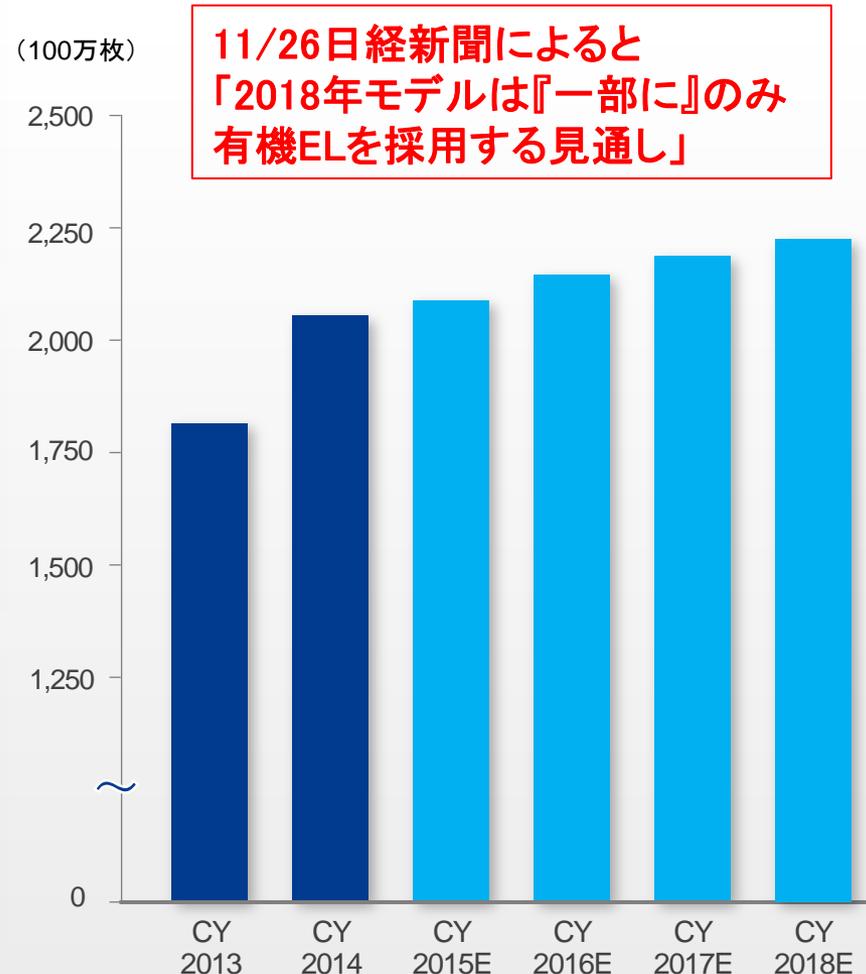
液晶の優位性は続く

- ・有機ELと比べて製造コスト、寿命、高精細性、太陽光下の視認性、サプライチェーンの供給力などの点で、液晶が断然優位。

薄型LED素子および光学シートの 共同開発

- ・有機ELに対抗する薄型のLED素子および光学シートをサプライチェーンで共同開発開始。

中小型液晶世界生産枚数



3-1. HDDの数量減によって利益は減少しない (ピボットとボールベアリング事業の将来)

外部販売数量は、9月に1億6,300万個と再び過去最高！

外販需要の拡大が続く

- ・当社ボールベアリングの外部販売数量は半導体出荷数量や世界経済成長率とも密接に連動
- ・2013年春以降、自動車のダウンサイジングや省エネ化（電動化）や、クラウドの進展に伴うサーバー用ファンモーターの伸び、ATMの伸びなど、各種高付加価値製品の伸びによる需要拡大が続く。
- ・外部販売数量は15/3期に月次過去最高を3回更新した後、16/3期も上半期ですでに2回更新中。

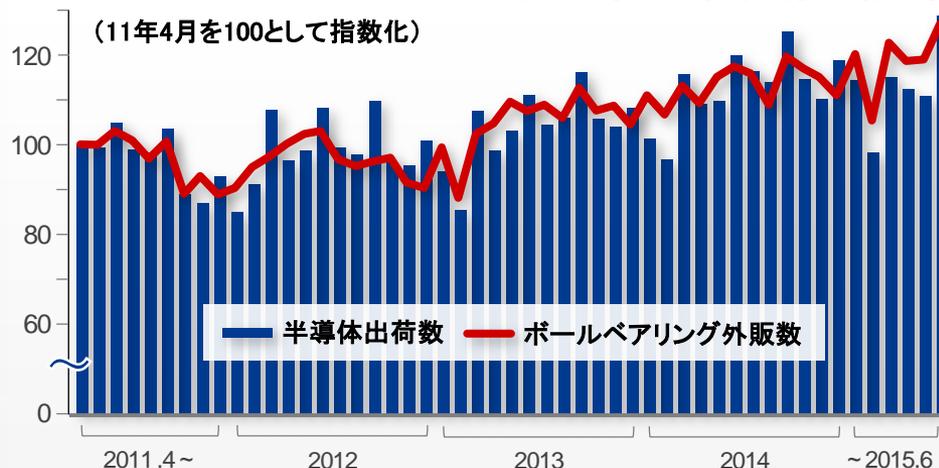
内販はHDD市場縮小で低下も 新「5本の矢」戦略による 外販拡大で影響を最小限に

- ・ボールベアリング需要の約3割を占める社内使用数量については、その大半を占めるHDD向けピボットアッセンブリーが、HDD市場の縮小で低下も、一旦回復中。
- ・ボールベアリングのさらなる増産体制を確立し、価格対応力を強化して市場の開拓を加速する。
- ・ピボットアッセンブリーは数量漸減を想定も、機械加工品の利益はボールベアリング外販数量の増加で充分カバー可能。

2015年12月2日

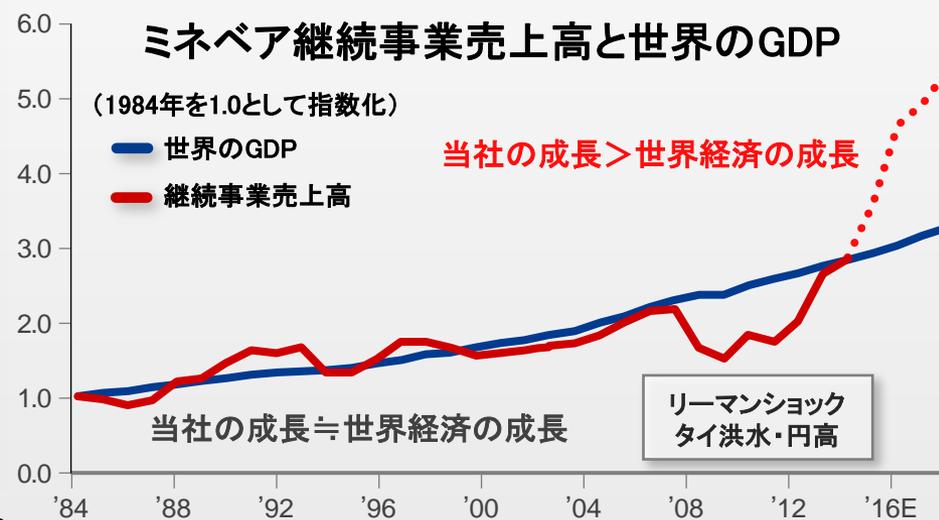
ベアリング月次外部販売と半導体市場の相関

(11年4月を100として指数化)



ミネベア継続事業売上高と世界のGDP

(1984年を1.0として指数化)



3-2. HDDの数量減によって利益は減少しない (スピンドルモーター事業の将来)

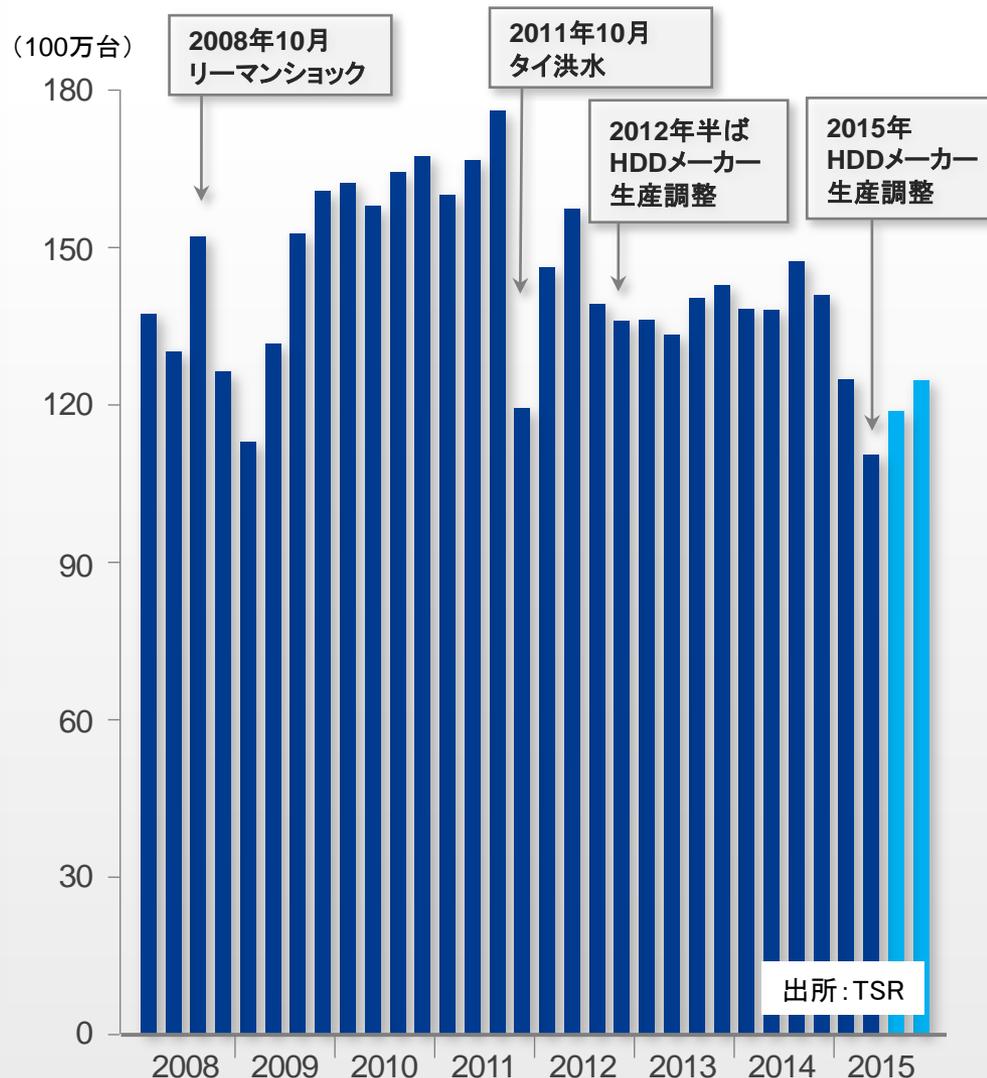
得意とする ハイエンドHDDモーターは拡大へ

- ・2015年HDD出荷台数は4億5千万台を想定。
- ・①PC販売不振、②SSDによるモバイル機器向け市場侵食、③クラウド化の進展などにより、HDD市場は緩やかな縮小トレンド。
- ・2015年上半期は一時的に急激な縮小となったが、6月をボトムに一旦回復基調へ。
- ・データ記録需要の大幅な伸びは継続しており、データ記録のビット単価で勝るハイエンドHDDは今後益々の需要拡大が期待される。

収益性維持に注力

- ・HDDスピンドルモーターはハイエンドに注力し、数量拡大。

HDDの出荷数量



4-1. 今期・来期・再来期の業績拡大の ドライバーとなる計測機器事業

買収シナジーの追求

- ・今年2月に買収完了したSartoriusMT&Hとのシナジー発現(①ミネベア製部品の使用拡大、②ミネベア計測機器製品の販売地域拡大、③ミネベアのタイを中心とする大量生産設備の活用)を早期に進める。
- ・買収後ベースでも、以前からの高マージンを維持。

既存製品の着実な伸び

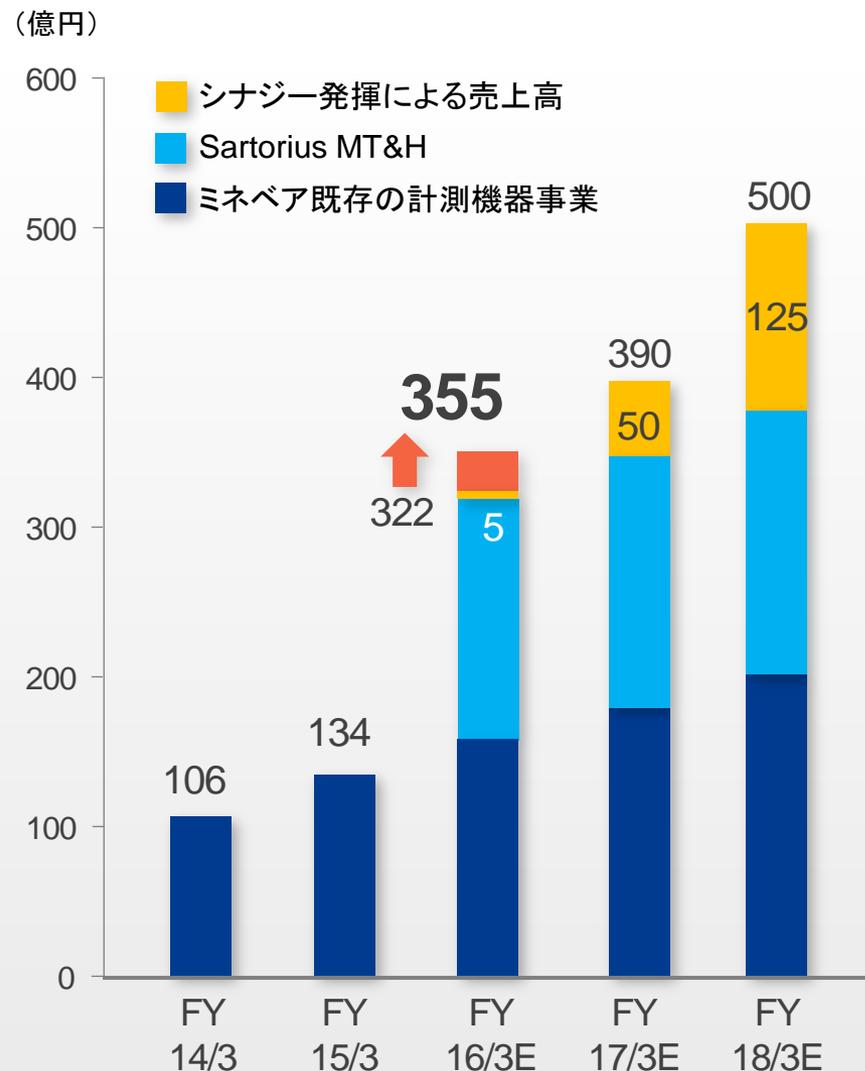
- ・北米自動車市場向けのシートセンサーを中心に順調な拡大。

新規用途の開発を推進

- ・合計で年間3,000億円規模の市場へ来期より順次参入へ

- ①医療用ベッドセンサー
- ②ボルト締結力監視センサー
- ③ロボット二足歩行用センサー
- ④スマート農業用センサーなど

計測機器事業売上高



4-2. 今期・来期・再来期の業績拡大の ドライバーとなるモーター事業

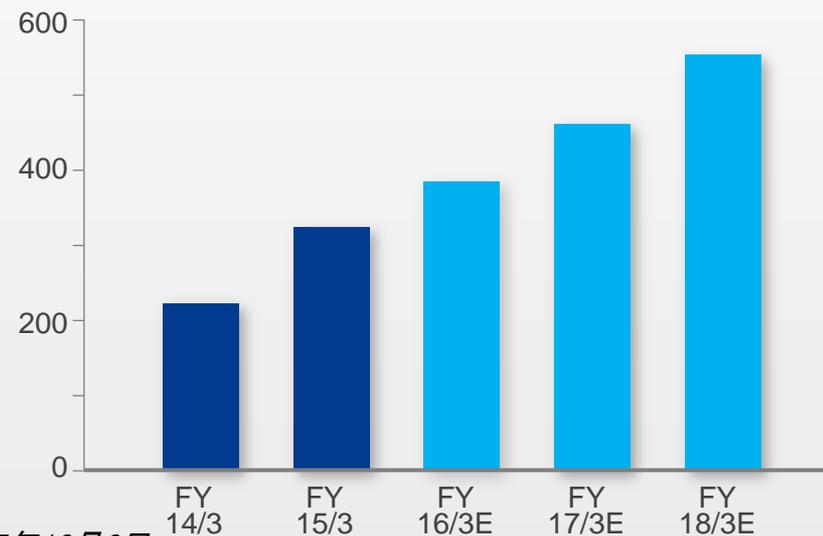
1

自動車の高機能化で
ミネベア製小型モーターへの需要増加

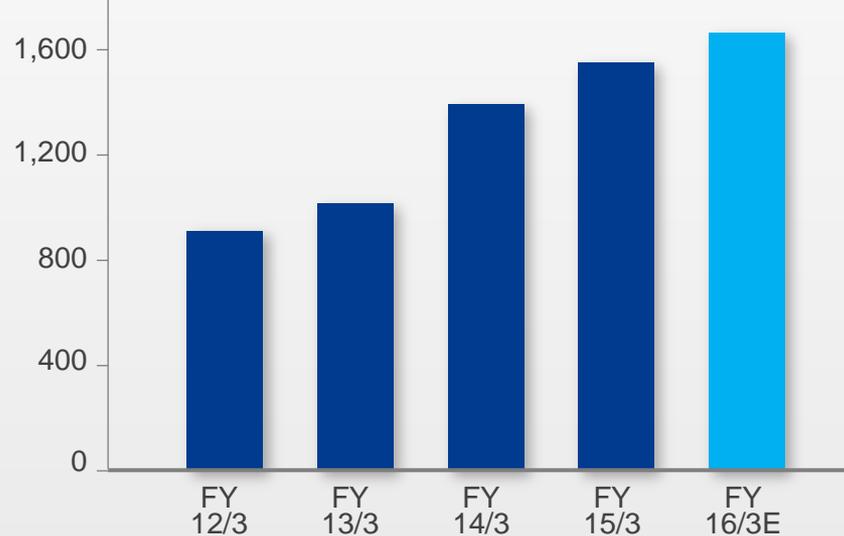
2

モーター技術を中核とした
複合製品の受注は堅調

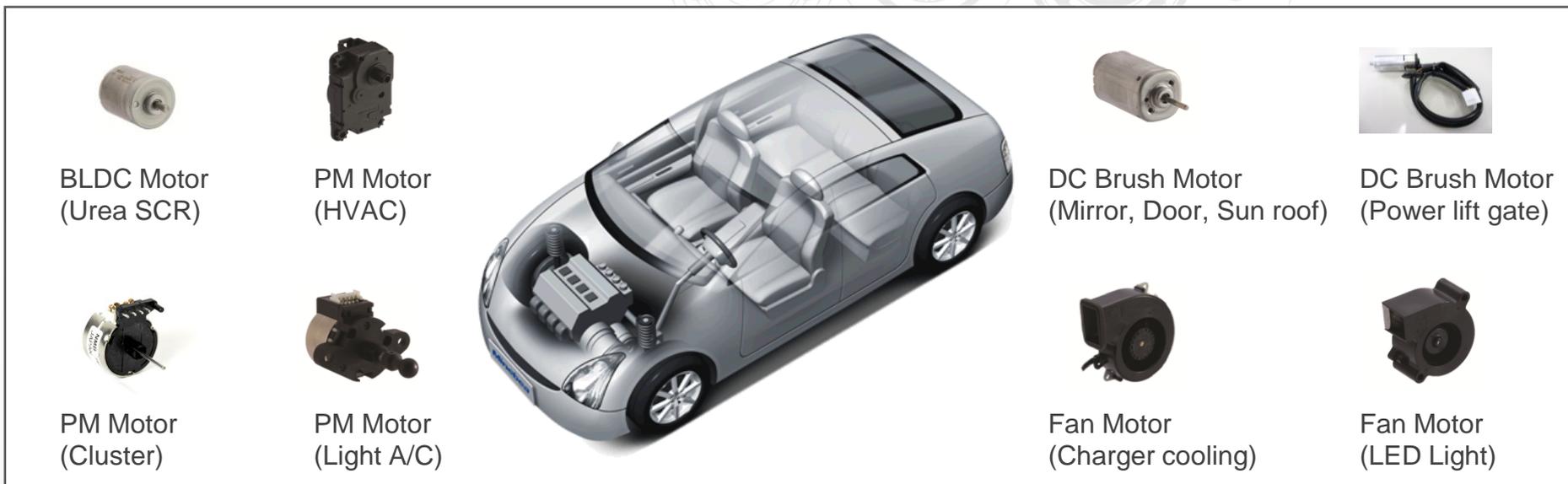
(億円) 複合製品売上高(客先支給品を除く)



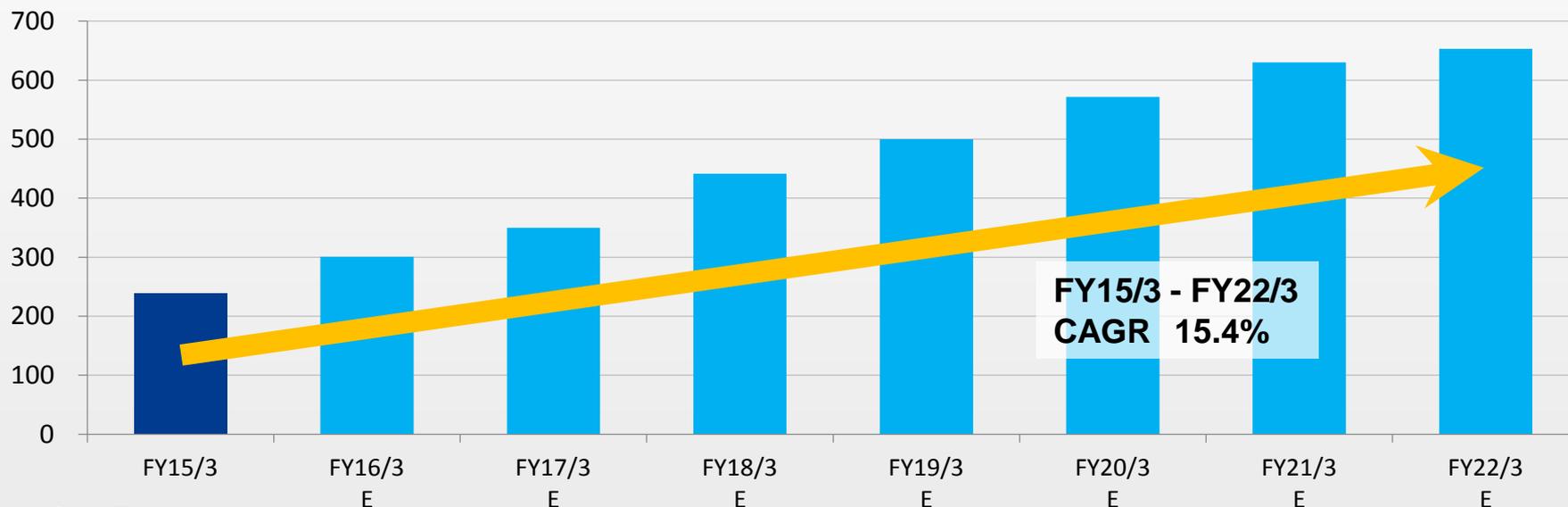
(億円) モーター事業売上高



4-3. 車載用モーター製品の成長



(億円) 車載用モーター売上高



売上、利益とも過去最高を更新見込み

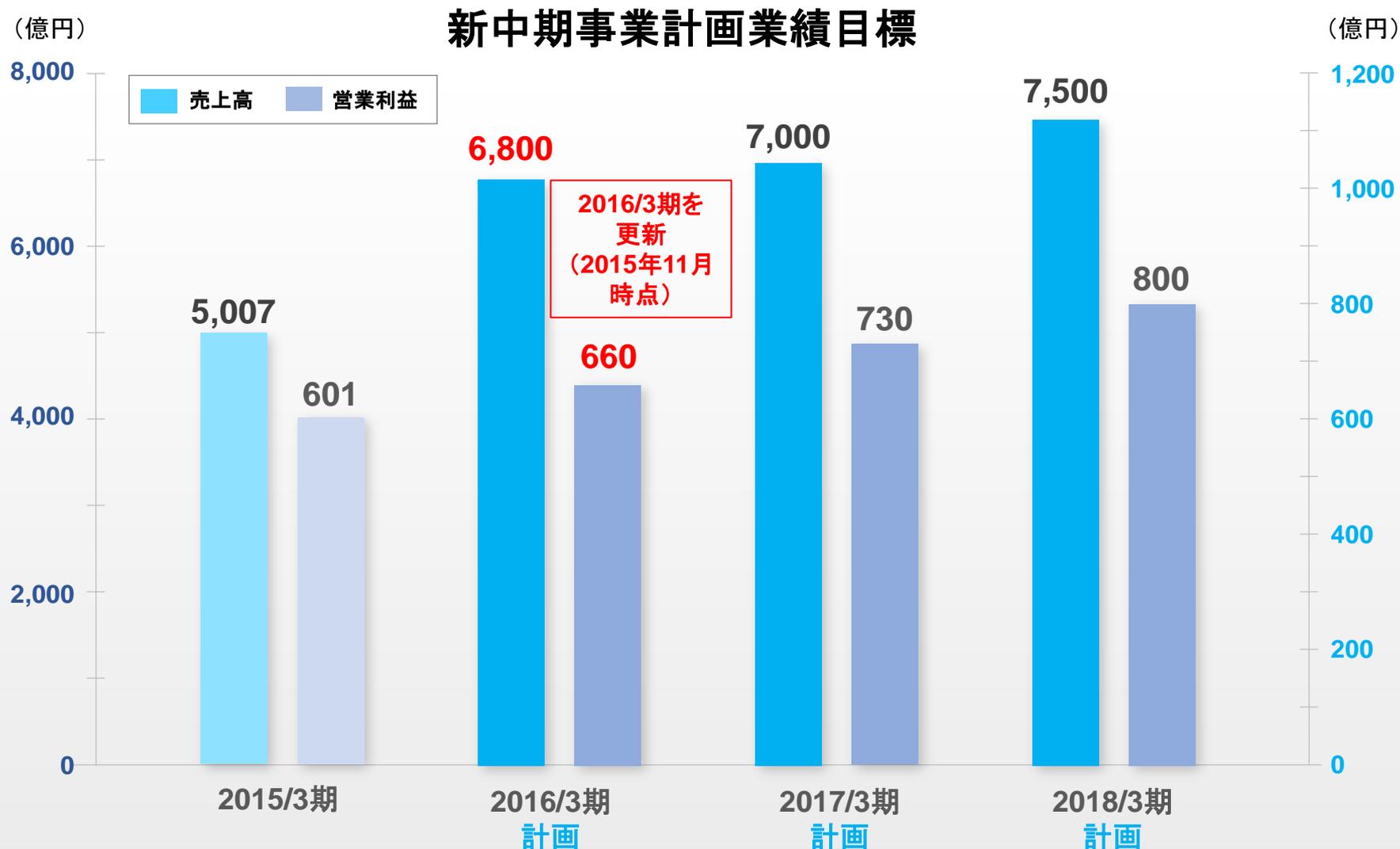
- ① 9月単月の売上高は690億円、営業利益は70億円と、大きく伸びた(簡易連結ベース)
- ② タイバーツ安、人民元安の効果が具現へ
- ③ ボールベアリングの外販数量の伸び、LEDバックライトと計測機器の売上増加、モーターの収益改善が進む

今期設備投資計画は期初計画比微増にとどまる

来期減価償却費は大幅減少し、競争力が飛躍的に高まる

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期				
	通期	上半期	下半期 修正予想	通期 修正予想	通期予想 前期比	下半期 7月修正計画	通期 7月修正計画
売上高	500,676	295,554	384,446	680,000	+36%	355,500	650,000
営業利益	60,101	27,417	38,583	66,000	+10%	38,600	67,500
経常利益	60,140	23,326	39,174	62,500	+4%	38,100	66,500
純利益	39,887	17,758	30,242	48,000	+20%	27,800	50,000
一株当たり 純利益(円)	106.73	47.49	80.85	128.34	+20%	74.35	133.72

2020年に向けた通過点としての新中期事業計画に変更なし



1

カンボジアでのスマートシティへの取り組み

2

SALIOT™ (Smart Adjustable Light for IoT)

3

J3DDによるヘッドアップディスプレイ

4

医療用ベッドセンサー

①カンボジアでのスマートシティへの取り組み

ミネベアの無線制御技術を用いたスマートシティ構想に
三菱重工様の道路交通ソリューション技術を融合！

大崎電気工業様が本プロジェクトにスマートメーターで参加決定！

Minebea
Passion to Exceed Precision

- 環境省JCM設備補助事業への採択内定。
- 2016年初頭より、約9,000本の高効率LED街路灯をプノンペン市内等5か所に設置予定。



パーキング
センサー

世界で最も進んだスマートシティ
のショーケースを作り上げる

- ①交通監視システム
- ②大規模駐車場管理のIT化
- ③スマートメーター

スマートシティの市場予測

4,000 兆円(*)

2010 ~ 2030年累計

三菱重工

この星に、たしかな未来を

- ICTを活用した道路交通ソリューション技術の共同開発(①、②)

OSAKI

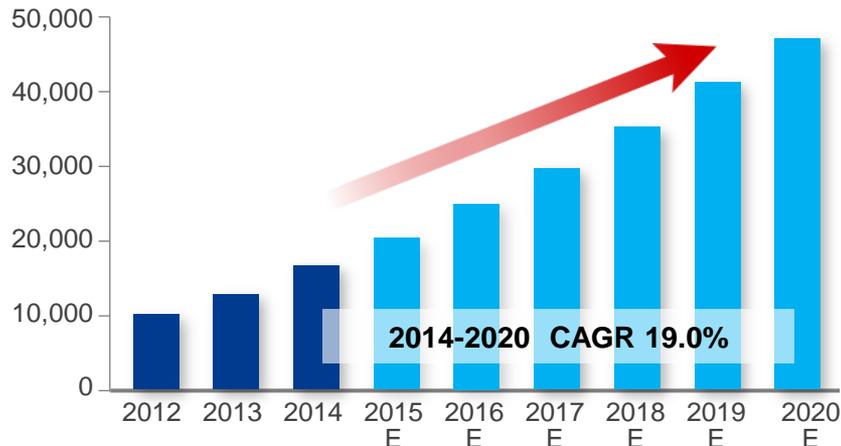
- 電力量計(スマートメーター)を加えた技術開発について協業(③)

業界初となる光の配光角を自動調整可能なLED照明器具

SALIOT™のグローバル販売体制の構築

- ・タイにおける照明器具およびスマートネットワーク関連製品の総販売元としてCTI社とパートナーシップを締結。
- ・バンコクにショールーム開設、市場調査を開始。
- ・国内美術館、バンコク高級カーディーラー向け等で導入済み。
- ・2016年 米サンディエゴの展示会に出展予定。

(億円) 世界LED照明器具市場予測



ヘッドアップディスプレイ(HUD)向け光学部品の量産を開始

薄型ガラス成型技術によりHUDの更なる高精度化、軽量化に貢献

欧州高級車向けに受注

- ・岡本硝子が自動車部品メーカーよりHUD用コンデンスレンズを受注、J3DDが製造を行う。
- ・J3DDのHUD用光学部品はコンデンスレンズ、反射ミラー、コンバイナーを揃えており、順次、量産化へ向けたアクションを進めている。

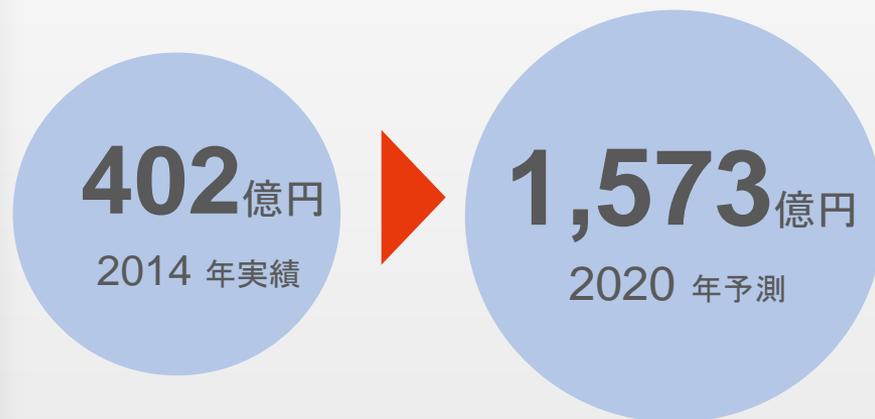
薄型ガラスのメリット

- ・光源(高輝度なLEDやレーザー光)に対する耐熱性に優れ、より光源の近くに配置できる。
- ・HUDの大画面化に対し、薄型ガラス成型は精度・形状安定性・重量等において優位。

小型化、軽量化および配光調整に最適

**来期、柏崎工場は
フル生産になる可能性**

HUDの市場予測

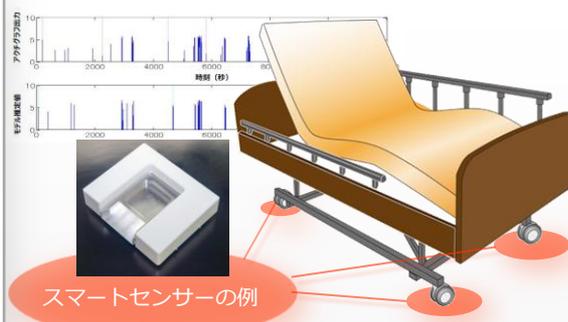


出典: 富士キメラ総研

医療用ベッドセンサーによる生体情報モニタリングシステム

日本IBM様、千葉大学様、および千葉大学医学部附属病院様と共同実証研究

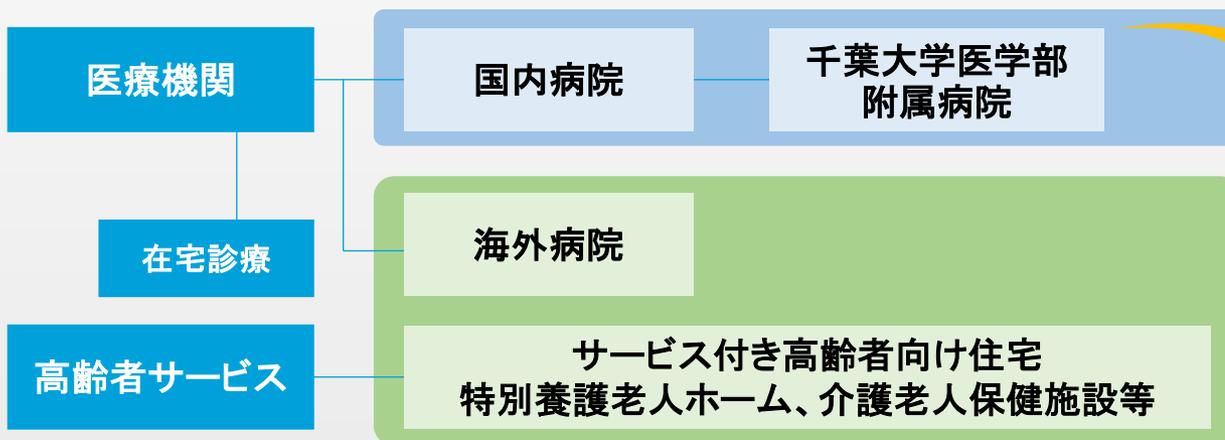
- ・ミネベアの高精度荷重センサーと、IBMの機械学習およびクラウド技術の組み合わせ。
- ・非侵襲、非接触でリアルタイムに生体情報を観察可能。(アルゴリズム3件、センサー1件の特許を出願済み)
- ・1年以内の製品化を目指す。



他方式との優劣比較	ミネベア 4つ脚センサ 装着ベッド	ベッド用 圧力センサ 搭載マット方式
病院内の医療行為をサポートするツール	◎	△
家庭用などで実用されている	×	○
被験者に近く微弱信号の取得が容易	△	○
寝心地が変わらない	◎	×
参入障壁が高い	○	△
病棟で長時間使用に耐えられる(床ずれ回避)	◎	×
体格の違い(子供・大人用)に影響されない	○	×
ベッドへ簡易な設置	△	△
体位変化がデータ取得に影響を与えない	○	×
安価	△	×

ターゲット市場:

国内医療機関で実績を積み、高齢者サービス施設、介護施設等へ事業領域を広げる



目標売上高
40億円
潜在市場規模
1,200億円

病床数400以上の国内医療機関における実施を想定した場合(弊社調査)

期末配当も4円増配し、年間20円配当へ

2016年3月期 配当

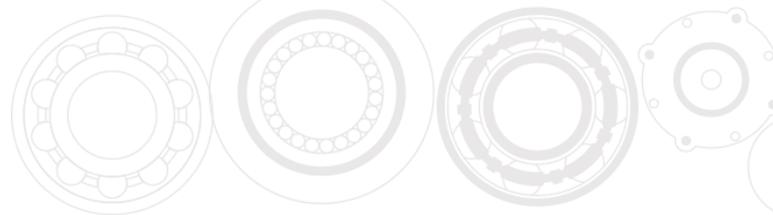
	5月予想	7月予想	今回
中間配当	未定 →	10 円/株	
期末配当(予想)	未定 →	未定 →	10 円/株

(ご参考)2015年3月期 配当

年間配当12円(中間配当6円 期末配当6円)

分野や目標を絞ったM & Aとアライアンスを検討

- 大規模M & Aについては、あせらず慎重に対応する
- 中小規模のM & Aやアライアンスを含む、機械加工品事業の強化を最優先で行う



ミネベア株式会社

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。